

# すまいるカフェだより

～2021年6月号 VOL.14～



こんにちは。夏に近づき暑くなってきましたね。さて、今回はカフェだより3回目の院長インタビューを行いました。また、院長から皆様への質問もあります。ぜひ最後までお楽しみいただければと思います。

## 院長から皆様へメッセージ

みなさま元気でお過ごしでしょうか。直接会って多くの方々と話し合うことができないことに対して申し訳なく思っております。ただ、解決策としてワクチン接種が始まりましたので少しでも早く皆さんと集い、お話ししたいと思っております。それまでは、散歩したり、一緒に住んでいる家族とは会食をしたり、大いに楽しんでください。



## 院長インタビュー

院長はいつから呉羽総合病院で働いていますか？

私は山形大学卒業後、山形大学第一外科へ入局し東京で仕事をしていました。その後、平成5年5月に呉羽総合病院に入職し28年間勤務しております。当時、生まれ育ったいわき市で働けるとは思っていませんでした。地域の皆様のお役に立てるよう今後も精進して参りたいと思います。

呉羽総合病院に勤務してから現在まで、大きく変わったと思うことは何ですか？

入職時と現在で比べると、医療安全、感染症対策などがとても重視されるようになったと思います。そのためにさまざまなことに配慮して慎重に行って来ました。患者様にとって、十分な説明を受けてから治療が開始されるようになったため、よくなったと思います。

今後の抱負は何ですか？

地域に密着した病院、選ばれる病院になることです。地域の医療機関と協力して、いわき市南地区の中核病院としての役割を全うできるように頑張ります。また、子どもくつろげるような施設としての病院も目指していきたいです。

コロナが終息したら何がしたいですか？

家族で旅行に行ってゆっくりと温泉に入りたいです。皆様も楽しいことを考え、それを実行するため今を乗り切りましょう。



※今回は緑川院長から皆さんへの質問がございます。別紙に質問が記載されておりますので、ご記入お願い致します。同封されております返信用封筒にて返信いただけましたら幸いです。